

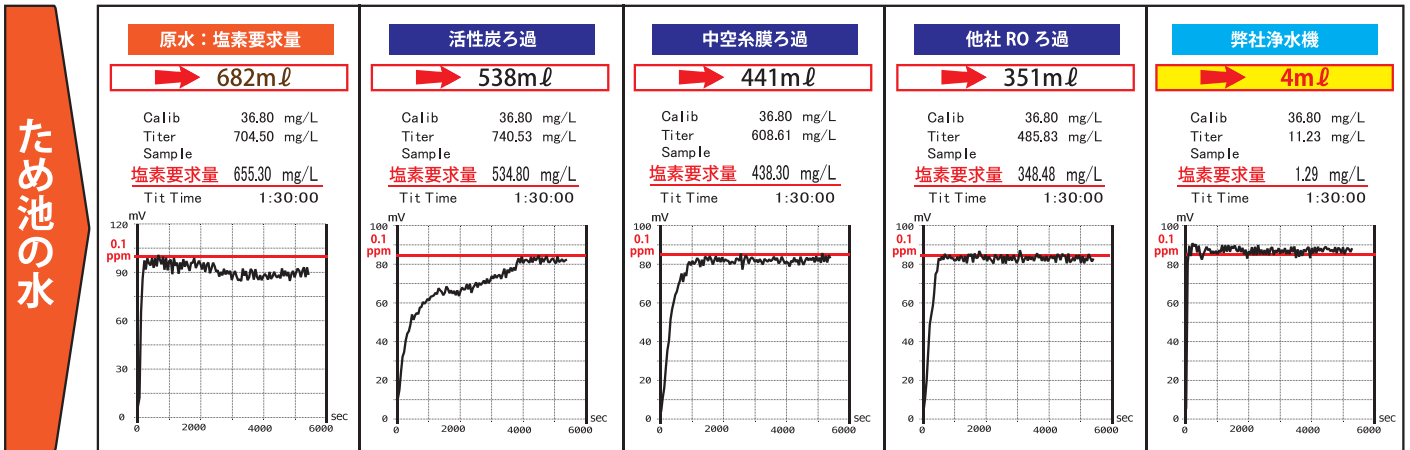
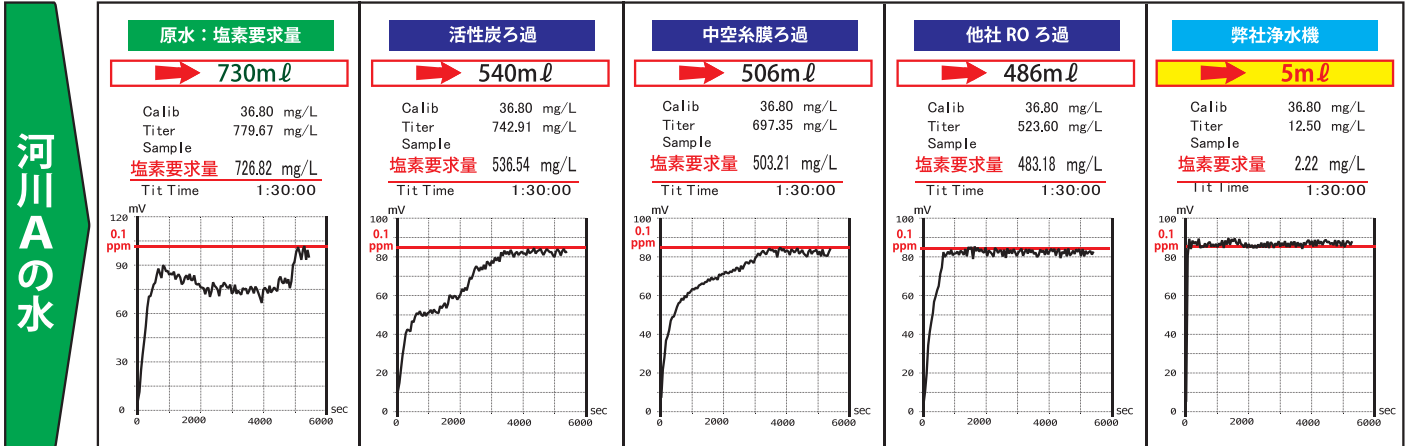
製品比較

弊社 災害用浄水機
他社 災害用浄水機

災害用浄水機 CV レスキューなら

添加する次亜塩素量を最小限に抑えます

塩素要求量比較表



0.1 ppm : 遊離残留塩素、0.1ppm

➡ : 濃度 10% の次亜塩素注入量

※次亜塩素注入量：塩素要求量から計算[条件：遊離残留塩素 0.3ppm、処理水量 1 トン、次亜塩素濃度 10% (比重 1.13)]

有機消毒副生成物質を抑えます

塩素要求物質
(有機物やアンモニア)
も除去できる

過剰な塩素注入
の必要がありません

発ガン物質
トリハロメタン、
ホルムアルデヒド等

生成されない

シアン化合物
青酸化合物等

発生しない

次亜塩素+有機物(アミン類・フミン類)→(化学反応)
→発ガン物質のトリハロメタン・ホルムアルデヒド生成

次亜塩素+アンモニア→(化学反応)→クロロミン生成
+有機物(アミン類・フミン類)→(化学反応)→シアン化合物生成

■塩素要求量とは、水の中に塩素を注入し水中の無機物・有機物と反応して、遊離残留塩素が出るまでの塩素注入量をいいます。

■「クリスタル・ヴァレー」なら 4~5mℓ の次亜塩素添加で瞬時に 0.3mg/ℓ の遊離残留塩素を確保できます。

■NASA(SSP50005) 宇宙安全飲料水基準、TOC(全有機炭素化合物)0.5ppm 以下を達成。